

2026 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社トヨコー
代表者名 代表取締役 CEO 豊澤 一晃
(コード：341A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 白井 元
(TEL. 0545-53-1045)

東日本旅客鉄道株式会社秋田事業本部秋田総合車両ベース（南秋田）で SOSEI 工法の報道関係者向け見学会実施

老朽化した橋梁・工場等のインフラメンテナンス技術を開発する株式会社トヨコー（本社：静岡県富士市、以下当社）の工法開発・施工する SOSEI 工法が、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、以下同社）の秋田事業本部秋田総合車両ベース（南秋田）（所在地：秋田県秋田市、以下同車両ベース）で実施した、報道関係者向け見学会にて技術紹介されました。

■ SOSEI 工法紹介の背景や今後の見通し

同車両ベースは 365 日休むことなく日本の鉄道の安全・安定輸送を支えてきた主要拠点です。今回、見学会の対象とされた客車庫 1 号（屋根面積 約 12,000 m²、以下、同車庫）は築 60 年程度経過しており、日本海から塩害の影響も相まって雨漏れなどの屋根の老朽化が進んでいます。

今回の全面改良工事において屋根の葺き替えも検討されましたが、同車庫内で行われている点検、清掃業務への影響が避けられない工事計画となり、完了まで 10 年以上の膨大な工期・コストを要する事が課題でした。

SOSEI 工法は、特殊な 3 層の樹脂により屋根を強靱に補強する事で、車両整備場内の車両や作業員を、大型台風、ゲリラ豪風、大型地震等の自然災害から守る事ができます。瞬間効果層を含む強靱な樹脂層の上に作業員が乗りながら作業を行うため、365 日稼働が求められる同車庫でも、車庫内の作業を止めることなく大面積の改修を高効率に行う事ができ、結果として完了まで 4 年以下と、工期・コストの大幅な抑制に繋がります。また、1 層目に断熱層を含む事から、外断熱効果による作業環境の改善が期待できます(注)。

長年、日本の鉄道運行を支える同社において、年々高まるインフラの老朽化対策コストは経営課題となっています。当社としても、今回見学会が開催された同車両ベースに限らず、同社インフラの老朽化対策コストの抑制に寄与するべく、施工効率向上などの企業努力を継続して行って参ります。

注：本件と異なる現場であるが、SOSEI 施工後は施工前と比較し、夏場のスレート屋根裏温度が最大 20 度低下する実績を有する（出所：当社「事業計画及び成長可能性に関する事項（2026/6/19 公表）」P. 36）。

■ 本件に関するお問合せ先（株式会社トヨコー 広報 IR 担当）

E-Mail: pr@toyokoh.com TEL: 0545-53-1045

以 上